

環境委員会がアンケート調査に基づき、省エネを展開。

広島県 三原市立第五中学校

特徴

- 校内の環境委員会の指導のもと、学校内と家庭内の両面にわたり省エネ活動を行っている。
- アンケートを実施して、その結果をもとに環境委員会がさまざまな提案を行っている。

アンケートを行い、生徒の環境意識を調査。

三原市立第五中学校では、平成17年度から環境講座の受講生と環境委員会を中心に、節電や節水に取り組んできたそうです。しかし、これまでの活動はかけ声だけのものが多く、一般の生徒にとって省エネは身近な活動ではなかったようです。

そこで、一般生徒の環境意識や、家庭での省エネへの取り組みなどを調査するアンケートを実施。その結果、多くの生徒が省エネに対して関心はあるが、実践はできていないことが分かりました。

環境委員会ではこのアンケート結果を受けて、身近で簡単な省エネ活動を行うことにしました。特に、蛍光灯の消し忘れにテーマを絞った省エネ活動を全校朝会で提案しました。以下がその内容です。

<蛍光灯をつけない時間>

- ・10分休憩、その他の休憩時間。
- ・移動教室。
- ・昼食時間。
- ・教室が明るい時や使用しない時。
- ・廊下・階段。

<蛍光灯を消し忘れないために>

- ・スイッチ係を作る。
- ・外側の蛍光灯はつけない（赤シールを貼っているスイッチは常につけない）。
- ・連絡黒板にOFFカードをつけ、移動教室の時間を一目で分かるようにする。
- ・教室のドアに消灯を促す掲示物。



第五中学校



環境委員会の活動は「環境掲示板」で報告

こうした節電への取り組みと同時に、理科の時間を使って省エネについての学習も行いました。これによって、3月の第1、2週の電力は1カ月前に比べて31%も削減されました。

英知と工夫で一層の省エネ化に取り組む。

環境講座の生徒は校内の蛍光灯の数をチェックしました。校内には40Wのロング蛍光灯だけで1,412本あったそうです。この蛍光灯にエコワットをつなぎ、使用時間・使用電力量・使用電気料金・CO₂量を計測しました。40Wの蛍光灯を1時間点灯すると、使用電気量は0.1kw、電気代は2円、排出するCO₂の量は27.4リットルという実験結果が出ました。これらの結果は、全校朝会で生徒に報告されました。

今後も節電・節水の省エネに取り組みながら、日常会話の中に省エネの話題が出るような取り組みを行っていくとのこと。また家庭や地域で実践できる活動にも取り組んでいきたいと考えています。

【エネルギー削減率】 31.0% (2月→3月)

■プロフィール

所在地: 広島県三原市
参加生徒数(学年): 399人(1~3年生)
省エネ活動について: 以前から実践